

平塚市および大磯町の海岸に漂着したイカ類

山田 和彦・浜口 哲一

Kazuhiko Yamada and Tetsuichi Hamaguchi: Stranded squids on the beach of Sagami Bay.

はじめに

平塚市博物館では1990年から漂着物を拾う会を定期的に催し、平塚市虹ヶ浜海岸を中心に漂着物の観察と収集を行ってきた。近年、同会会員の新井和雄氏らによって、軟体部の保存されたイカ類が相次いで発見され、博物館に届けられた(図1)。イカ類の漂着に関する報告は少なく、日本海沿岸のものについて本間(1983)などがあるのみである。相模湾においてはこれまでまとまった報告はない。ここでは、2000年10月から2001年9月までに漂着し、平塚市博物館に資料として収蔵されたイカ類について報告する。

採集されたイカの種類

採集されたイカはツツイカ目開眼亜目の3科6種であった(表1)。各種の詳細を示す。

1. ホタルイカモドキ *Enoploteuthis (Paraenoploteuthis) chuni* (図2.1)

HCM-54-1746, 1747, 1748, 1749, 1750, 1751

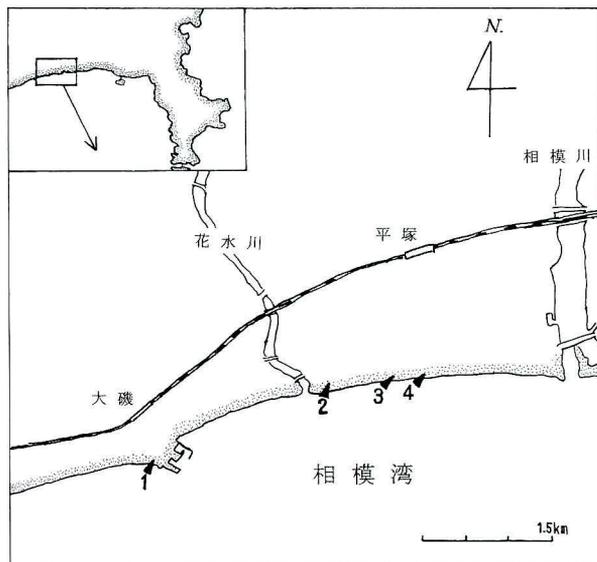


図1. 採集地。1.大磯町照ヶ崎; 2.平塚市虹ヶ浜; 3.龍城ヶ丘; 4.袖ヶ浜。

本種の外套膜後端は長く、ゼラチン質になっている。触腕の掌部には8個前後の鉤と、その前方に4列の小吸盤を持つ。腹面前部に明瞭な8列の発光器があるが、後部は不明瞭であるなどの特徴をもつ。

日本列島を中心とした北西太平洋に分布し、主に中層に生息する。相模湾でも三浦半島の定置網での漁獲やキンメダイの胃内容として記録がある(Kubodera & Yamada, 2001)。

本種は本報告中、最も個体数が多かった(6個体)。採集月をみると、3月の1例を除き、6~8月に集中している。外套長は、79mmから96mmで130mmまで成長する本種としては未成体であると思われる。

2. スジイカ *Eucleoteuthis luminosa*

HCM-54-1752, 1753

本種はスルメイカに似た体型を持つが、腹面に2本の明瞭なすじ状の発光器があることが特徴である。

北太平洋と南太平洋、インド洋、大西洋南東部などに広く分布する。相模湾では沿岸の定置網で比較的ふつうに漁獲される(久保島, 1992)。

本報告では、2個体が記録された。採集月は5, 6月であった。外套長はどちらも約110mmで、220mmまで成長する本種としては未成体である。

3. シラホシイカ *Hyaloteuthis pelagica*

HCM-54-1754

本種はスルメイカに似た体型を持つが、腹面に瞳孔大の白色の発光器が19個あることが特徴である。

本州中部沖以南、太平洋の熱帯、亜熱帯海域と北西大西洋に分布する。主に外洋域に生息するため、沿岸域での記録は少なく、相模湾からは初記録である。

本個体は、10月に記録された。外套長は72mmで、90mmまで成長する本種としては、やや小型である。

4. アカイカ *Ommastrephes bartrami*

HCM-54-1755

表1. 平塚市, 大磯町の海岸に漂着したイカ類

	標本番号	採集年月日	外套背長 (mm)	採集場所*	採集者
ホタルイカモドキ科					
ホタルイカモドキ	HCM-54-1746	2001.3.30	86	平塚市龍城ヶ丘 (3)	新井和雄
	HCM-54-1747	2001.6.13	87	平塚市龍城ヶ丘 (3)	新井和雄
	HCM-54-1748	2001.7.1	79	平塚市龍城ヶ丘 (3)	新井和雄
	HCM-54-1749	2001.8.14	90	平塚市虹ヶ浜 (2)	新井和雄
	HCM-54-1750	2001.8.14	96	平塚市虹ヶ浜 (2)	新井和雄
	HCM-54-1751	2001.8.30	86	平塚市龍城ヶ丘 (3)	新井和雄
アカイカ科					
スジイカ	HCM-54-1752	2001.5.28	111	平塚市虹ヶ浜 (2)	新井和雄
	HCM-54-1753	2001.6.13	113	平塚市龍城ヶ丘 (3)	新井和雄
シラホシイカ	HCM-54-1754	2000.10.13	72	平塚市虹ヶ浜 (2)	新井和雄
アカイカ	HCM-54-1755	2001.5.15	192	平塚市袖ヶ浜 (4)	新井和雄
ヤセトビイカ	HCM-54-1756	2001.8.25	105	平塚市龍城ヶ丘 (3)	新井和雄
ユウレイイカ科					
ユウレイイカ	HCM-54-1757	2001.9.24	140	大磯町照ヶ崎 (1)	南那津子

* () 内の番号は図1. 中の番号に対応

本種はスルメイカに似た体型を持つが、鰭は幅広く、胴も太短い。トビイカとは、外套膜と漏斗軟骨器が癒着せず、簡単にはずれる(トビイカは癒着し、簡単にはずれない) ことで区別できる。

赤道付近を除く世界の亜熱帯から亜寒帯に広く分布する。相模湾では沿岸の定置網で漁獲されるが、個体数は多くない (Kubodera & Yamada, 2001)。

本個体は、8月に記録された。外套長は192mmで、1mまで成長する本種としては未成体である。

5. ヤセトビイカ *Ornithoteuthis volatilis*

HCM-54-1756

本種はスルメイカに似るが、胴は細長く、後端は尖る。触腕掌部の吸盤にある角質環には、ほぼ同大の18から21個の鋭い歯が並ぶ(アカイカやトビイカは、90度ごとに並ぶ4本のはが大きい) ことが特徴である。

日本の南部, 南太平洋, 南アフリカ東部に分布し、主に外洋の沖合に生息する。本種は、小田原沖で採集された標本に基づき新種記載された (Sasaki, 1915) が、その後、相模湾での採集記録はない。

本個体は、8月に記録された。外套長は105mmで、310mmまで成長する本種としては未成体である。

また、今回の調査中、1960年代に二宮町五ッ浦漁場の定置網で漁獲された個体 (HCM-54-1758, DML. 116mm) の標本を確認できた。

6. ユウレイイカ *Chiroteuthis imperator*

HCM-54-1757

本種は全身が寒天質である。体は細長く、鰭は丸

い。腕のうちの2本(第IV腕)は太く長い。触腕はひも状で長く、掌部の吸盤は非常に細かいなどの特徴がある。

本州中部以南からインドネシアまでと、インド西部に分布し、主に中層に生息する。相模湾では沿岸の定置網でまれに漁獲される (Kubodera & Yamada, 2001)。

本個体は、9月に記録された。外套長は140mmで、250mmに成長する本種としては小型である。

おわりに

今回の報告は、わずか1年あまりの期間に採集された資料に基づくため、各種の出現特性などを特定するまでには至らなかった。イカ類は、腐敗または他の動物による捕食などによって、軟体部が保存されることが少ない。また、これまでは単に『イカ』として見過ごされていることも考えられる。今後も調査を継続し、資料が蓄積されれば、平塚市および大磯町の海岸に漂着するイカ類と海況の関係も論議できるであろう。

なお、海岸に漂着するイカ類としては、コウイカ類の殻が最も多い。コウイカ類の殻は、腐敗しにくく水にも浮くため、漂着物としての発見は多い。しかし、相模湾付近のコウイカ類を殻によって識別することは、現段階では困難である。コウイカ類の殻による種同定も、漂着イカ類の研究を進める上で、大きな課題の一つである。

謝辞

本報告を作成するに当たり、標本を採集し寄贈下

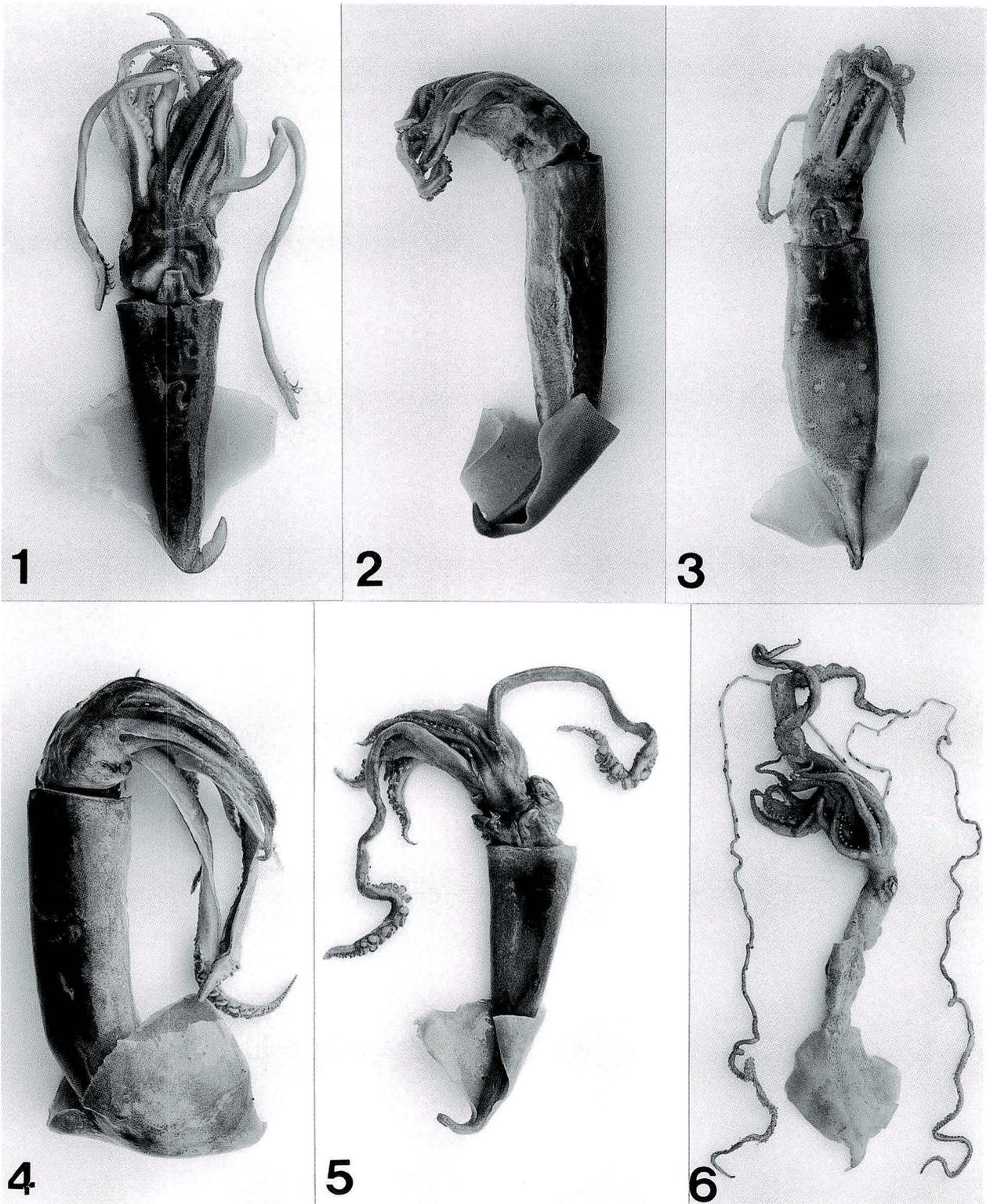


図2. 1. ホタルイカモドキ *Enoploteuthis* (*Paraenoploteuthis*) *chuni*; 2. スジイカ *Eucleoteuthis luminosa*; 3. シラホシイカ *Hyaloteuthis pelagica*; 4. アカイカ *Ommastrephes bartrami*; 5. ヤセトビイカ *Ornithoteuthis volatilis*; 6. ユウレイイカ *Chroteuthis imperator*.

さった新井和雄氏, 南 那津子氏, 助言をいただいた国立科学博物館の窪寺恒巳博士, 資料整理にご協力いただいた永井紀行氏に深く感謝する。

文 献

本間義治・北見健彦・水沢六郎, 1983, 漂着記録などよりみた新潟・佐渡近海における頭足類. 日本生物地理学会報, 38 (3): 23-29.
Kubodera, T. & K. Yamada, 2001 . Cephalopods found in the neritic waters along Miura Peninsula, central Japan. Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo, (37): 229-249.

久保島康子, 1992. 神奈川県沿岸海域で漁獲されるいか類の研究-I いか類の捕獲状況. 神奈川県試験場研究所研究報告, (13): 79-86.
岡田 要, 1968. 発光性頭足類の研究I スルメイカ類 横須賀市博物館研究報告, (14): 81-94.
奥谷喬司, 1995. 原色世界イカ類図鑑. 全国いか加工業協同組合, 186 pp. 東京.
Sasaki M., 1929. Monograph of the recent dibrachiate cephalopods of the Japanese and adjacent waters. Jour. Fac. Agri. Hokkaido imp. Univ., 29, suppl. (10), 1-357.
土屋光太郎, 2000. ホタルイカの仲間図鑑. pp. 195-269. ホタルイカの素顔. 東海大学出版会, 東京.

(山田: 相模湾海洋生物研究会, 浜口: 平塚市博物館)